

道徳通信

東中筋中学校

2018/05/29

No.1

道徳教育について

東中筋中学校では、左のような「道徳教育の重点目標」を掲げています。

よろしくお願ひします

三十年度がスタートして、ふた月が過ぎようとしています。一年生はすっかり中学校生活に慣れた様子で、元気に学習や部活動に取り組んでいます。また、二、三年生は、修学旅行を終え、班や学年で体験したことのみをまとめているところです。

さて、東中筋中学校では、今年度から三年間「道徳教育推進拠点校事業」の指定を受け、研究を進めていくことになりました。研究の中心は、道徳科の授業や評価の一層の充実と、家庭・地域との連携を図った道徳教育の充実です。この研究の内容や、道徳の授業の様子、道徳教育に関わる学校の取組や情報をお知らせする場として、道徳通信を発行していきます。

一年間、よろしくお願ひします。



- 「より良く生きようとする生徒を育てる」
- ・ 節度を守って行動する。
 - ・ 自分勝手な言動をしないで、相手の立場を考えて行動する。
 - ・ 進んで家庭、集団や社会に貢献する。
 - ・ 命や自然を大切にする。

学校では、さまざまな活動(例えば、授業、係活動、朝夕の学活、掃除、給食、行事、生徒会活動、部活動、など)を行う中で、この目標の実現を目指しています。

また、家庭や地域でも、道徳教育にあたる事が行われています。あいさつやお礼を言うこと、人のいやがることはしないこと、周りのものにやさしくすること、自分のことは自分ですること、最後までがんばること、家の手伝いをする事、等々。子供たちは、周りの大人から、人として大切なことを学べる中で、人としての在り方や、大事にすべき考え方を身につけて成長してきました。

家庭、地域、学校それぞれの場での道徳教育がうまくかみ合い、子供たちに豊かな心が育まれるよう、取り組みを進めていきたいと思ひます。今後とも、ご協力をお願ひいたします。

